

- ・追加・変更箇所は赤文字で表記。改訂日付は最新のみを記載。
- ・このメモから、ご自身の必要箇所を楽譜に転記するなど有効活用して下さい。

初版 2024/05/28

改訂 2025/01/07

## 【RioGrande】変更と注意事項

### <曲を通じて>

- ・演奏方針：本番までに、覚えるだけでなく、咀嚼して腹落ちしたところまで仕上げる。
- ・曲想：元気よく、というよりも、綺麗に。

### 【全体共通】

- ・口は横ではなく縦に縦に。譜読みの段階からから習慣づけておかないと、癖が抜けなくなる。  
特に、「Grande」は無意識に横に広がる癖があるし、抜けがち。落ち着く音だからこそ、より強く意識して最後まで縦にしっかりと。
- ・ズンチャッチャのリズムにきちんと乗って、軽やかに踵浮かせたテンポ感。（意外に早い）  
テンポがだんだん重く遅くなり、強風に向かって進む感じ（「ヨッコイショ・ヨッコイショ」になりがち。）
- ・8 小節後半など、「ワン」の 8 分休符を切れよく、その後「ツッスリー」の食いつきが遅れないように。
- ・全パート 遅れる原因は、「8 分音符以外の長い音符の時に、8 分音符のリズムをカウントしていない」のではないかと感じる。9 小節の「way」など 5 拍分の伸ばしや、10 小節の「o」の短めの 2 拍分の伸ばしも。その結果、ワンツッスリー の「スリー」がだんだんとずれてくる。
- ・練習の時は、指揮に合わせて体を揺らしながらリズムをとって歌ってみるとリズム感をつかみやすい。
- ・歌詞が続くところは、パート内でブレスを分散して、全体として音切れがないように。

### <個別事項>

#### (A)

- ・3 小節 他 way など：付点四分 + 四分音符は音符の長さをキープ。
- ・4 小節他 8 分音符の Grande は「グワン d」とぶちツときらず、拍一杯使ってゆったりと「ぐうらん d」
- ・8 小節 他 Grande 縦の口で。ともすれば油断して横に広がって台無し。

#### (B)

- ・12小節 他 singing など5拍目から（1・2・3・ワ）で入るパターンの食いつきに注意。遅れがちだが、突っ込みすぎるときもある。

(C)

・17小節～は、16小節までと同じテンポ。遅くならないようキープ。この入りが特に顕著に遅くなる。

- ・17-20小節：力を抜きすぎてテンションを落とさない。ソロにバトンを渡すよう丁寧に。また、ズンチャツチャズンチャツチャを感じていないとずれる。他のパートをよく聞いて。食いつきが遅くなると遅れる。T1 u → lu に歌詞を変更。でも「ru」や「リュ」とはしない。ブレスは18小節と19小節の間。lu-u は楽しく、抜かずにリズムに乗って綺麗に、ソロにバトンタッチする感じ。慣れてきたら少し跳ねた感じ（Lnとか）で遊び心を出すのもよい。20小節はファルセットできれいに（Lu～u）。口が狭いと音が飛ばないので、loに近いluで響かせる。

T2B1 Pm の P は子音のみ。「Pu（フ）」にならないように。

B2 の Bm の B も「Bu（フ）」ではない。

T2B1 Pmpm pmpm pmpmpm はしっかり食いついてオンビートでしっかり刻んで。

19、20小節 B2 は、「Bm----」と mで延ばすこと。（B----mとしない）

T2B1B2 Hm・・・の口が狭い。これだと音が飛ばないので、発声練習時の Hm のように口腔奥を広く開けて響かせる。

(D)

(E)

(F)

- ・36小節 we'll は well（ウェル）ではなく、we will の短縮形（ウィル）。
- ・37小節～ marcato（パンパンパン）と legato（滑らかに）のメリハリをつける。
- ・43小節の2拍目は「A ♭」でなく「F」に下がる。（E）の35小節の2拍目からこれが出現。

(G)

(H 前半) meno mosso

- ・G までの元気よさから、「ガラッ」と雰囲気を変える。麦畑にそよ風が吹いているさわやかな風景、そこにハーモニカが聞こえてくるイメージ。

- ・52 小節 では、一音ずつ指揮をだすのでそれに合わせる（意外に遅くない）。
- ・52 小節からのハミングは、発声練習時と同じ。
- ・53 小節の 6 拍目がバラつく。指揮をよく見てオンビートで入る。
- ・T1 強弱が p なので、頑張らなくてファルセットでよいので、むしろきれいな響きをだす。
- ・B2 文字通りベースとして、同じ音をふらつかせずに出す。同じ音を続けようとする絶対下がる。  
推進力をなくさないためには、音符の最後で音を少しアゲアゲで出すイメージを持って。
- ・55 小節 全パート 音は 2 つだけど、ここから分かれてくるので、きれいに（押さないで）正確に（少し高めに音をとる意識がよいかも）。
- ・56 小節 B1 A→G# は、少し(半音)下。G まで下げすぎるとマイナーな和音になる。
- ・56～58 小節 最初の sing-ing のテンポをキープ（タメとかの装飾はせず意外にシンプルに刻む）。  
T1 高音域なので大変だが、テンポ感を出すために 1 語 1 語を粒立たせて（単語を繋げない）  
T2B1 ユニゾンなので一つの音で。近い音程まで来ているが、たどり着いていない音がある。特に  
出だし「Singing の B」、「young の C」の音は意外に高いので注意。互いによく聞いて。あと空  
気が抜けているような音量の下げ方にならないように。  
全パート p は、ただレンジを小さくするのではない、小さくやっているフリで歌う、というイメージ。

### (H 後半) Tempo I

- ・一転、元のテンポで ff で頑張る（T1 も高音だが頑張る）けど、あくまできれいにまとめ上げる。